

令和6年
12/4 水
一般質問

映像配信は
こちらから



- 地域活性化
- ①「元気創出!どこでもトーク」の成果と今後について
 - ②やまぐち農林漁業ステキ女子について
 - ③二地域居住の取組について

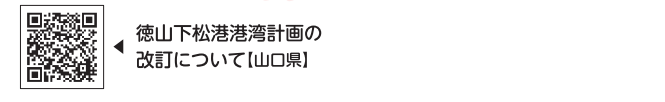
- 経済・地域活性化
- ④カーボンニュートラル施策の推進強化について
- (1)徳山下松港港湾計画の見直しについて
- (2)徳山下松港の新たな用地の確保について
- (3)菅野ダムの運用高度化について



④カーボンニュートラル施策の推進強化について

問 (1)徳山下松港港湾計画の見直しについて

徳山下松港港湾計画は、平成40年代前半を目標年次として平成26年3月に改訂され、10年経過していますが、その間、大きく変化したことは、カーボンニュートラルの出現です。徳山下松港港湾脱炭素化推進計画には、港湾脱炭素化推進計画と港湾計画の整合を図るとともに、必要に応じた港湾計画の見直しについてお示しされていますが、今後の徳山下松港港湾計画の見直しについてはどのように考えているか、ご所見をお伺いいたします。



(2)徳山下松港の新たな用地の確保について

要望 近年、バイオマスなど取扱貨物量の増加から、徳山地区晴海埠頭では船舶の滞船が特に著しい状況にあります。このままでは、荷主にとって生産性も低く他の港へと船が逃げてしまう可能性もあり将来的な損失は計り知れない状況です。すでに、バースとヤードが不足していることから、将来カーボンニュートラルを進めるにあたって深刻な用地不足に陥るのだと思います。現在の港湾計画に沿った港湾整備と埋め立てが、計画的に着実に推進されることを要望いたします。



答 土木建築部長

県では、現行の港湾計画に沿って、国際バルク戦略港湾施策により、当面のベースエネルギーである石炭に加え、取扱量が急増しているバイオマスにも対応した施設整備を進めているところです。また、企業は水素・アンモニアの活用等、更なる脱炭素化に向けた取組を進めており、これらを踏まえ、県としても、港湾脱炭素化推進計画と現行の港湾計画との整合を図りながら、必要となる港湾施設の整備について検討を行うなど、脱炭素化に向けて取り組んでいくこととしています。県としては、脱炭素化に向けた技術の進展を踏まえた企業の取組の具体化や、取扱貨物の変化等の動向を注視し、今後、港湾計画の見直しが必要となった際には、適切に対応してまいります。

①「元気創出!どこでもトーク」の成果と今後について

問 「元気創出!どこでもトーク」は、知事が県内各地に出向かれて、地域の皆様や関係団体・関係企業の皆様から直接ご意見を聞くという取組として長く続けておられます。これまでどのような成果が得られたのか、また今後どのように取り組んでいかれるのか、ご所見をお伺いいたします。

答 山口県知事 本県は、県政の各分野で様々な課題に直面しています。

これに的確に対応し、その解決を図っていくためには、現場の課題やニーズ等をしっかりと把握をし、それを県の施策に反映させながら、県づくりを進めることが重要です。そのため、知事就任以降から毎年、「元気創出!どこでもトーク」を開催し、現場が抱える課題や御提案を伺ってきたところです。

デジタル化・脱炭素化への対応

少子高齢化に伴う人手不足

中山間地域における生活機能の維持・確保

人口減少 など...

- 主な成果
- 県政運営の指針である「やまぐち未来維新プラン」の策定等に際し、県内8地域でどこでもトークを開催。
 - 農林漁業や子育て支援等の関連行事に合わせて、分野別のどこでもトークを開催。また、離島訪問による島の課題や振興策について意見交換。
 - コンビナートの脱炭素化における企業の課題を伺い、国に要望し、速やかな対応が図られた。

今後の取組... 私は、各地域・各分野の現場を重視するとの考えの下、今後も継続して「元気創出!どこでもトーク」を開催し、私自身の考えを丁寧に説明しながら、現場の声をしっかりと伺い、それを取組に反映させる形で、県づくりを前に進めていきます。



②やまぐち農林漁業ステキ女子について

問 県農林水産事務所が主催、ステキ女子活躍推進補助金等を活用して、少しいアイデア・工夫によって生産性や効率性の向上が図られ、職場の環境改善に繋がった事例を視察いたしました。

やまぐち農林漁業ステキ女子の育成にどのように取り組んでいかれるのか、ご所見をお伺いいたします。

答 農林水産部長

農山漁村女性が農林水産業の成長や地域の活性化を牽引していくためには女性のさらなる活躍を推進することが重要★

経営発展に向けた実践活動に取り組む若手女性農林漁業者を「やまぐち農林漁業ステキ女子」として登録!

★県では「ステキ女子」を活動支援しています★

女性が働きやすい環境の整備

- 自ら出荷調整や価格設定ができる産直ECサイトの活用セミナーの開催。
- 専門家の派遣。
- 家庭に配慮した勤務時間の見直し。
- 女性用の更衣室・トイレの設置などの支援。

ステキ女子を応援する体制づくり

- アイデアや経験等を学び合交流会を通じたネットワークの構築。
- 企業等と連携したマルシェの開催。
- 女性農林漁業者が活躍する動画配信などの広報。

実践活動を支援

- 「ステキ女子活躍推進補助金」の活用推進。

県としては、今後とも、女性が働きやすくなる魅力ある農林水産業の実現に向け、高齢化の進む農山漁村への若い世代の定着を図る、「やまぐち農林漁業ステキ女子」の育成に積極的に取り組んでまいります。

問 (3)菅野ダムの運用高度化について

周南地域における工業用水の節水は、企業活動に影響する大きな課題です。

洪水期の6月15日～9月30日の間(108日)は利水容量の制限あり。

ユーザー企業の自主節水が開始されやすい状況に...

もっと欲しいよね

利水容量の引き下げは、治水の観点から台風や大雨に備えるための対策として必要であることだが...

アンサンブル気象予測技術

を利用することで

治水・利水に効果的な管理ができる

平常時は利水容量の水位を高く維持し、洪水予測時には流入量予測などから1週間程度前からの事前放流が実現できる

国土交通省「ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト」の報告書により

この考えに基づき、現行の洪水期における貯水量制限の見直しと工業用水の安定供給への柔軟な運用が検討可能と考えますが、カーボンニュートラル社会を見据えた工業用水確保にも資する菅野ダム運用高度化について、ご所見をお伺いいたします。

③二地域居住の取組について

問 二地域居住を関係人口の拡大、地域の担い手の創出という視点のみならず、災害時の避難先として、被災者のその後の生活再建の選択肢となる視点を含めて、災害が少ない山口県の強みを活かす取組として検討できないかと考えます。国土交通省の中間とりまとめにおいても、二地域居住先が2次避難先となり得ることが示されています。県として、二地域居住の促進についてどのように考えているか、また、県による二地域居住に係る広域的な地域活性化基盤整備計画の策定について、どのように考えているか、ご所見をお伺いいたします。

答 総合企画部長

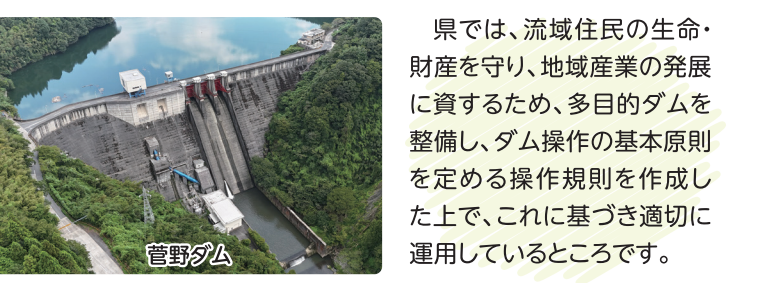
二地域居住は...

- 地域の担い手の確保
- 空き家の解消
- 新たなビジネスの創出など...

地域の課題解決や地域経済の活性化に資するとともに、将来の移住に繋がることも期待できる!

今後、本県の暮らしの魅力や地域資源等を活用して、都市部の住民と地域の継続的な関係を創出することにも取り組んでいきたいと考えており、そうした取組を、二地域居住の促進にも活かしていきます。さらに、国において、二地域居住の促進に向け、地域との往来に必要な交通費の支援等、個人負担の軽減などについての検討が進められていることから、こうした施策の動向を市町とも共有しながら、必要な取組を検討してまいります。お尋ねの広域的な地域活性化基盤整備計画の策定については、市町が定める特定居住推進計画と調整しながら策定することが必要となることから、二地域居住促進に係る市町の意向を踏まえて、対応を検討したいと考えています。

答 土木建築部長



お尋ねの「ダム運用高度化による流域治水能力向上と再生可能エネルギー増強の加速化プロジェクト」において、国は、降雨予測の精度向上と、降雨予測の不確実性のリスクを考慮したダム運用について課題があることから、徹底的に試行を重ねた上で、ダム運用高度化技術の開発や標準仕様の策定、ルール作り、リスク管理手法などの検討・開発を進めるとされています。

ダムの運用高度化については、ダムの有するポテンシャルの最大限の活用が図られ、流域全体の治水機能の向上や、カーボンニュートラル等の施策への貢献につながるとされており、県としては、菅野ダムへの適用について、国の動向等を注視しながら、企業等とも連携し、その可能性について検討することとしています。

山口県議会議員

ふくだ 福田りえこ

Vol. 4 2025.03

県政レポート

りえこの見る! 聴く! 動く!

福田りえこが 県政の課題を自分の目で見て、皆様の声を聴いて、調べて、考え、行動に移します!!

皆さまのご意見をお寄せください!

- 令和6年 10/30 山口県児童センター視察
- 令和6年 10/30 自動運転EVバス 10/30 実証運行試乗
- 令和6年 11/3 周南地域農業女子交流会見学
- 令和6年 10/31 長門市 山口県総合社会福祉大会
- 令和6年 11/8 あかちゃんと高校生とのふれあい授業視察
- 令和6年 11/30 山口県警察視閲式
- 令和6年 12/19 日米次世代政治リーダー交流プログラム 山口県議会表敬訪問
- 令和6年 11/16 元気創出! どこでもトークin大津島

陽春の候 ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。このたびは9月定例会と11月定例会の2回分の県政レポートをお届けいたします。一般質問に取り上げました県収入証紙制度の見直しや菅野ダムの運用高度化については、県庁内でのワーキンググループが立ち上げられ検討が進められています。引き続き、皆さまのお声や想いを大切により良い県政へと繋げていけるようがんばってまいります。

福田りえこ 謹白

福田りえこ 事務所

TEL. 0834-33-9411 FAX. 0834-33-9412

〒745-0017 山口県周南市新町1丁目43-1 飯田ビル1F

E-mail: riekofukuda.office@gmail.com

◆環境福祉委員会

保健、医療、福祉対策に関すること、環境生活行政に関するを行う

◆産業脱炭素化推進特別委員会

- (1)「やまぐち産業脱炭素化戦略」に基づく県の取組・課題
- (2)2050年カーボンニュートラルに向けた産業界の取組・課題
- (3)国の取組の状況及びそれらが県内産業に与える影響・課題

委員会活動

令和6年
9月・11月

環境福祉委員会

9月定例会
10月2日※・3日※

環境福祉委員会での質問

- 山口県自転車安全で適正な利用促進条例の周知について
- 宅配便等の再配達削減の推進について
- 子育て支援・少子化対策に関する県民意識調査について



11月定例会
12月9日※・10日※

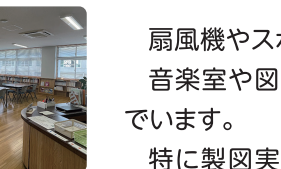
環境福祉委員会での質問

- 悪質電話勧誘等の被害防止対策について
- HPVワクチンのキャッチアップ接種期限延長に伴う周知について
- 防疫意識の向上と防疫対策の啓発について
- 眼科検診の受診促進について
- 狂犬病予防のためのワクチン接種について

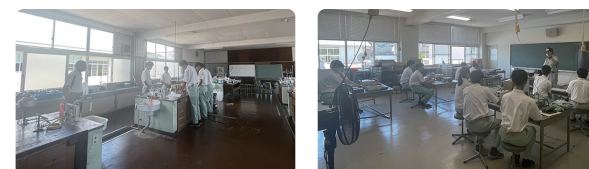


もっと詳しく
Pick Up!

山口県立南陽工業高等学校&山口県立徳山商工高等学校の実習棟視察



徳山商工高校 実習棟の授業風景



令和6年9月11日(水)に山口県立南陽工業高等学校へ、令和6年9月12日(木)には山口県立徳山商工高等学校へそれぞれお伺いし、主に実習棟の暑さ対策について視察させていただきました。

扇風機やスポットクーラーでの暑さ対策がされています。音楽室や図書室などの特別教室はエアコン設置が進んでいます。特に製図実習室へのエアコン設置を求めるご意見をお聞きました。

令和6年
9/27 金
一般質問



デジタルインフラ

- ①行政手続のオンライン化について
(1)利便性の向上や負担軽減について
(2)収入証紙制度の見直しについて

経済活性化

- ②中小企業のBCPについて



① 行政手続のオンライン化について

tysテレビ山口の
ニュースで放送されました!

問 (1)利便性の向上や負担軽減について

行政手続のオンライン化にあたり講ずべき施策

業務改革	情報セキュリティ対策
●行政サービス全体のプロセスの可視化	●業務継続の確保
●行政手続で求めている添付書類の不要化	●情報システムの安全性及び信頼性を確保
など…	など…

デジタル庁より

行政手続のオンライン化に伴う手数料等の減額の検討や適切な手数料等の設定についての見直し検討をしていくことも必要なのではないかと考えます。

手続きのわかりやすさや添付書類の削減など利便性の向上や負担軽減につながる行政手続のオンライン化をどのように進めていかれるのか、ご所見をお伺いいたします。

答 山口県知事

行政手続のオンライン化は、時間や場所にとらわれずに様々な行政手続を行うことを可能とするもので、住民の利便性向上と自治体業務の効率化につながる、行政DXの第一歩となる重要な取組だと考えています。

山口県独自の
手続

- ★令和4年度、全てオンライン化を完了
(面談や原本提出が必要なものを除く)
- ★手続をオンライン上で完結するために必要となるキャッシュレス決済

- ★県のホームページで必要な手続に分かりやすくアクセスするための、総合案内サイト開設
- ★添付書類の削減にも繋がるマイナンバーカードの個人認証サービスを活用した本人確認



お示しの手数料等については、行政手続に係る様々なコスト等を勘案した上で設定しており、引き続き、オンライン化等による業務効率化の取組を進める中で、必要に応じて、見直しを検討することとしたいと考えています。

私は、今後も利用者視点に立ちながら、利便性の向上や負担軽減につながる行政手続のオンライン化の取組を着実に進めてまいります。

問 (2)収入証紙制度の見直しについて

行政手続のオンライン化を進める他の自治体の中では、収入証紙制度の廃止あるいは廃止に向けて取組を進めている都道府県、政令指定都市が年々増えてきています。

山口県においても、収入証紙制度の廃止を含めた見直しについて検討されていることが、今定例会で明らかになりましたが、今後、どのように検討を進められていくのでしょうか。

答 会計管理局長

現在、県においては、庁内関係課で構成するワーキング・グループにおいて、制度廃止と、これに代わる公金収納手続きのあり方について検討を行っているところであり、今後、先行都府県の事例等も参考にしながら、市町や関係団体等の意見を十分に伺った上、年内にも見直しの素案を作成することとしています。

② 中小企業のBCPについて

問 事業継続計画
(Business Continuity Planning)

災害などの緊急事態が発生したときに、企業が損害を最小限に抑え、事業の継続や復旧を図るための計画のこと



山口県に本社を置く企業において、BCPの策定の意向がある企業
(策定している／現在策定中／策定を検討しているを含む)

全国平均(50.0%)よりも低い状況

帝国データバンク山口支店の調査より

県として、中小企業のBCPの必要性や有用性、計画策定の目的、策定にあたる課題や効果の検証などを踏まえ、BCP策定を推奨するための取組をどう推進されているのでしょうか。また、「山口県中小企業BCPモデル」は平成22年度に策定されたもので、時流の変化からも、見直しが必要と考えるがいかがでしょうか。

答 産業労働部長

経営基盤がぜい弱な中小企業は、緊急時に有効な手を打つことができれば廃業に追い込まれる恐れもあるため、BCPの策定に取り組むことが重要です。

県としましては、中小企業が様々なリスクに対応できるよう、引き続き県中小企業団体中央会等と連携し、中小企業のBCP策定の促進に取り組んでまいります。

また、県のBCPモデルにつきましましては、自然災害のみならず、様々なリスクに対応できるものですが、今後、国の動向も踏まえながら、必要な見直しを進めてまいります。

デジタルインフラ

- ③高校入試のデジタル化について

地域活性化

- ④工業高校の実習棟における暑さ対策について

交通安全

- ⑤シートベルトの正しい着用促進に向けた取組について

③ 高校入試のデジタル化について

問

23都道府県の教育委員会で、インターネット出願ができるよう高校入試手続きデジタル化の取組が進められています。

高等学校入試に係る手続きのデジタル化についての調査研究

- 必要書類のやり取りの効率化
- 進捗状況の共有や管理の容易化
- 出願の手続の簡略化

…などに繋がることへ期待できる!

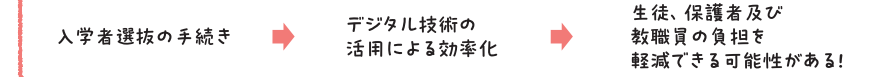
デジタル庁／令和6年3月実施報告書より

デジタル庁での調査研究や他都道府県での取組も参考に、山口県においても高校入試手続きのデジタル化への検討が進められないかと考えますが、山口県における課題やオンラインの出願システム導入についてどのようにお考えでしょうか。

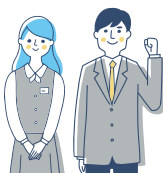
答

副教育長

入学者選抜の手続きについては、試験料の納付や、受検願書、調査書等の作成、提出など、多くの事務作業があります。



一方で、受検する生徒にとっては、入学者選抜は、その後の進路を決める極めて重要な機会となるため、その手続きについては、万全を期す必要があります。そのため、お示しのオンラインの出願システムなど、手続きのデジタル化に当たっても、志願者に不利益が生じないことも前提として、データの正確性や、情報漏えい防止などの安全性を担保しなければなりません。こうした対策に加え、現在、県収入証紙で納付されている試験料や、中学校・高校に整備している校務支援システム間でのデータ連携などへの対応も必要となります。



このように、高校入試に係る手続きのデジタル化に関しては、未だ整理・解消すべき多くの課題があることから、県教委としましては、まずは、国の動向や他県での取組状況について、情報収集に努めたいと考えています。

④ 工業高校の実習棟における暑さ対策について

Pick Up!
しました

問

昨今厳しさ増す猛暑の中で、学校施設の暑さ対策は、生徒の命を守るため、より良い学習環境の構築のために必要と考えます。

工業高校には…

- 普通教室以外にも、機械土木実習棟、電気情報実習棟、化学実習棟などがある
- 普通教室ではなく実習棟で授業を受ける時間が多いことが特徴

民間工場の暑さ対策

空調整備は難しい

クールベスト(水冷式や保冷剤式)等、送風ファン付きの作業服を装着!



実際にクールベストを着用してみました!

答

教育長

学校における暑さ対策は、良好な学習環境を確保する上で必要となることから、県教委では、多くの生徒が長時間過ごす、普通教室への空調整備を先行して進め、現在は、コンロなどを使う家庭科室や、窓を閉め切る必要がある音楽室等への整備に取り組んでいるところです。

工業高校の実習棟について

建物の構造等で空調の十分な効果が期待できないところ(溶接室など)

→ スポットクーラーを整備

製図室などその他の教室について

→ 引き続き、空調の整備を検討していきたい

実習時の暑さ対策

- 安全上、問題がない場合は適切な休憩の確保
- 安全上、問題がない場合は適切な休憩の確保
- 安全上、問題がない場合は適切な休憩の確保

冷却効果のある作業服等について

燃えにくい、破れにくいなどの実習時の安全確保に加え、購入に当たって保護者の負担も生じるなど様々な課題があり、各学校の状況に応じて、その必要性を検討されるものと考えます。

県教委といたしましては、今後とも良好な教育環境の確保に向けて、工業高校の実習棟の暑さ対策に取り組んでまいります。

⑤ シートベルトの正しい着用促進に向けた取組について

問

全ての座席におけるシートベルトの正しい着用を促進するための安全指導や周知・啓発についてどのように取り組まれているのか、ご所見をお伺いいたします。



答

警察本部長

道路交通法では、**後部座席を含めた全座席のシートベルトの着用が義務付けられています**が、当県においては、一般道路における運転者、助手席同乗者の着用率は、全国平均を上回るものの、**後部座席同乗者は平均を下回っております**。

- シートベルトコンビンサーを活用した参加体験型の交通安全教育
- 運転免許証の更新時や事業所従業員を対象とした講習
- 一般道路においても、街頭活動を通じて、後部座席のシートベルト着用の義務化や非着用時の危険性についての指導

- 正しくない着用法で重大な被害を負うことに注意
- 各々の交通安全運動におけるキャンペーンやあらゆる広報媒体の活用
- 体格等の事情により、シートベルトを適切に使用できない子供には、チャイルドシートを使用を指導



県警察といたしましては、全ての座席におけるシートベルトの正しい着用が徹底されるよう各種取組を継続的に行うとともに、シートベルト着用による被害軽減効果の事例紹介にも配慮した広報啓発活動に努めてまいります。

山口県内事故
後部座席の同乗者のシートベルト未着用事故

5件のうち、4件が死亡

